

奄美キャンプ新聞



本校野球部は平成30年12月24日～28日まで奄美大島でキャンプを行いました。今年で5回目のキャンプとなりました。奄美大島の年間平均気温は20℃を超え、12月であっても平均16.5℃と温暖な気候で、冬でも思い切った練習をすることが出来ます。晴れた日には20℃を越え、12月であっても半袖でプレーすることが出来ます。また、使用している名瀬運動公園は横浜ベイスターズや社会人野球でもキャンプに使用されており、プロと同じ環境で野球に没頭することが出来ます。

〈一日目・二日目〉

空港からホテルに向かうまでのバスの中でミーティングを行いました。ここでは、奄美での個人の目標などを発表しました。ホテルに着き、着替えると早速、名瀬運動公園に移動し練習しました。アップを終え、シートノックの後は、各班に分かれてバッティングや守備の練習をしました。夕食の時には、選手間でご飯の取り合いをしていました。それは、夜間練習に行くためにはご飯をイキロ以上食べるといふノルマがあったからです。夜間練習ではバッティングを中心に練習しました。



〈三日目〉

この日は筑波大学の川村先生による野球教室に参加しました。天気はあいにくの雨。室内練習場で行いました。新しいストレッチなどを行い、選手達にとって発見もあり、非常に勉強になりました。また、大島高校と合同練習を行い、東京と奄美の新たな交流ができました。



〈四日目〉

最終日前日は、奄美キャンプ恒例の特守を行いました。選手が気合いを入れるために顔に泥を塗ることはよくあるのですが、今回は監督やコーチ、Sの方にも泥を塗り選手と同じ気持ちで練習しました。特守の後、まとめのシートノックを、全員で行いました。その時、監督は加圧ベルトをつけてノックを打ち、選手の気持ちを鼓舞していました。選手は、監督の期待に応えようと、特守で疲れている体を必死に動かし、ボールを追いかけてました。



〈五日目〉

最終日はキャンプ名物の100×100を走りました。最初の50本は浜辺で走りましたが、砂浜は走りにくく、また風も強く辛そうでした。残りの50本はグラウンドに戻り走りました。辛い中でも、みんなで声を掛け合い、乗り切ろうと必死に走っていました。その姿を見て、監督・コーチが感動し、全員の甲子園に行きたいという思いを改めて実感し、奄美キャンプを終えました。

一人一人が個人の目標達成に向けて練習し、辛い時には声を掛け合うなどとしていて、お互いを高め合い、個人・チームとして成長しました。また、奄美の方々の温かく、人情深い心に触れ、人間性を高めるといふチーム全体の目標に少しでも近づけたと思えました。このキャンプで得たものを、これからの練習に生かし、夏の大会では甲子園出場を目指します。

《マネージャー一回》

